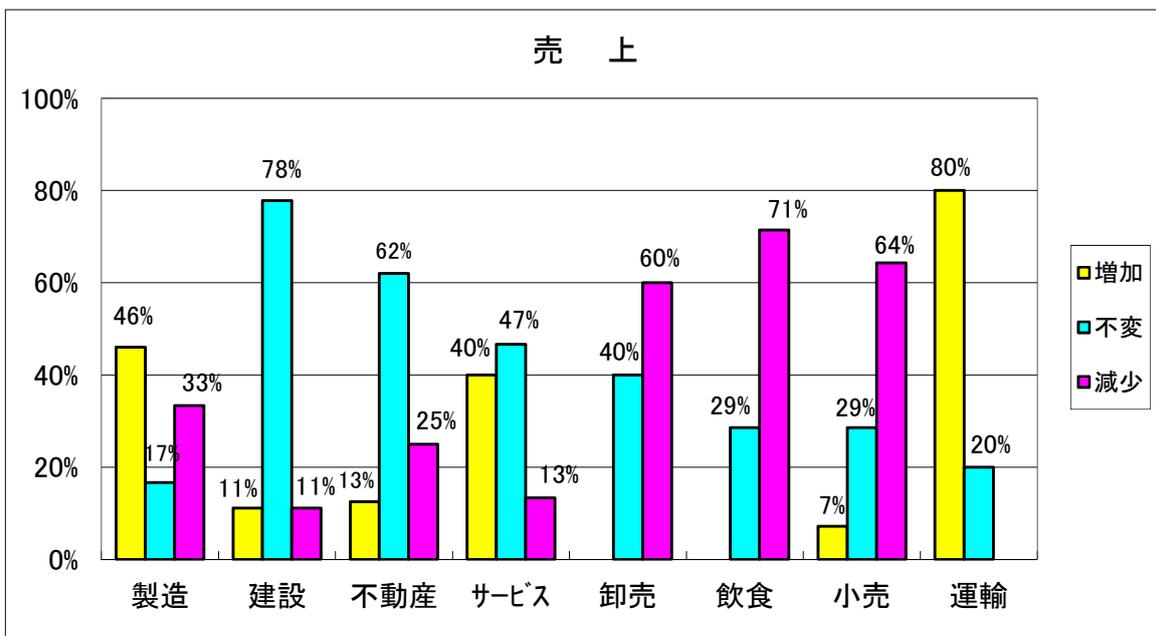


調査1 平成30年1月～6月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成30年下期の見通しについて比較表示してある。

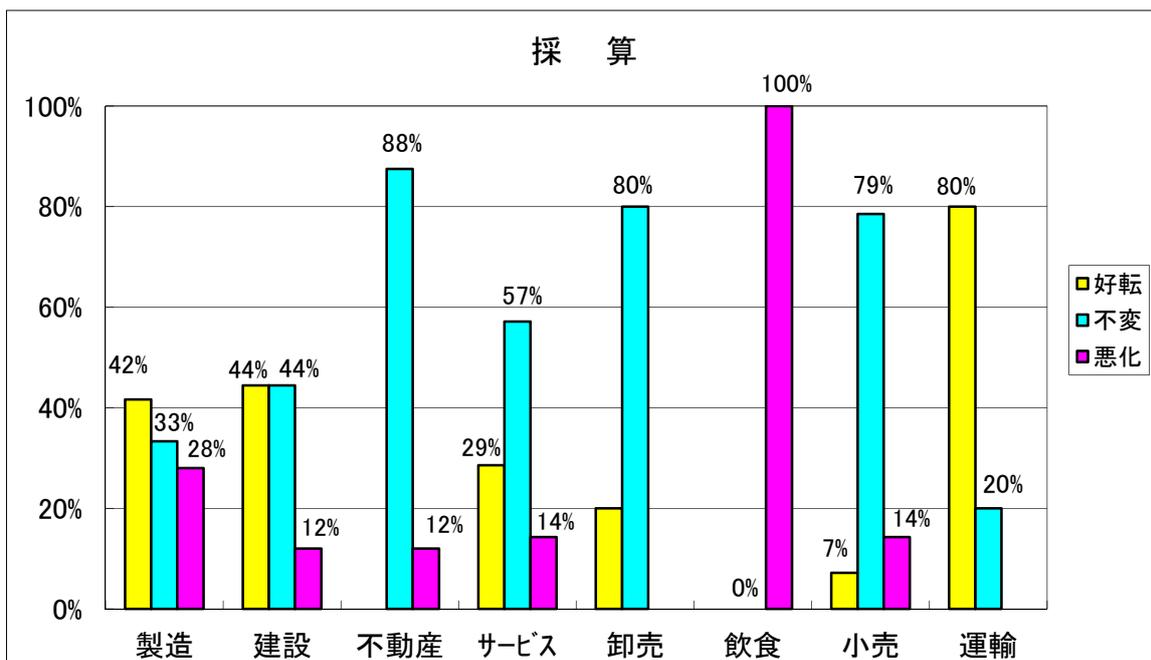
①売上について

全体的で見ると昨年より「増加」が24%（前回21%）、「減少」は35%（前回42%）と、前回調査に比べると売上増加企業が多くなっている。その中で、売上「増加」が見られたのが運輸業（80%）。一方、「減少」が顕著なのが飲食業（71%）であった。



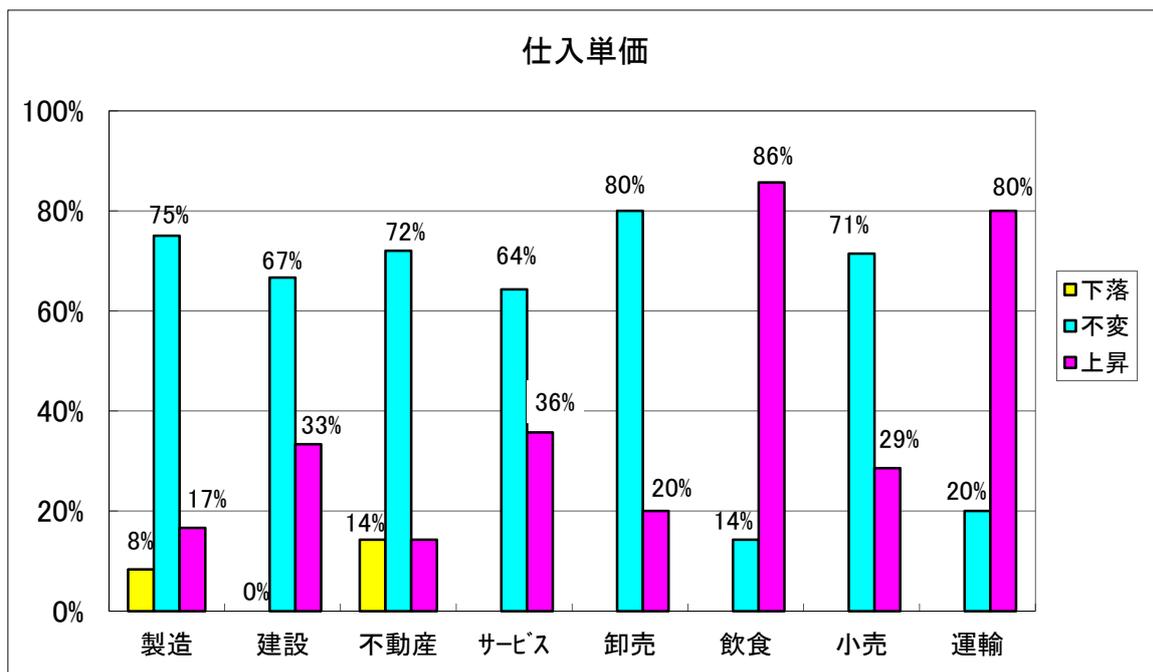
②採算について

全体で見ると、「好転」25%（前回13%）、「不変」53%（前回52%）、「悪化」22%（前回35%）であった。業種では運輸業（80%）が「好転」し、飲食業（100%）が「悪化」している。



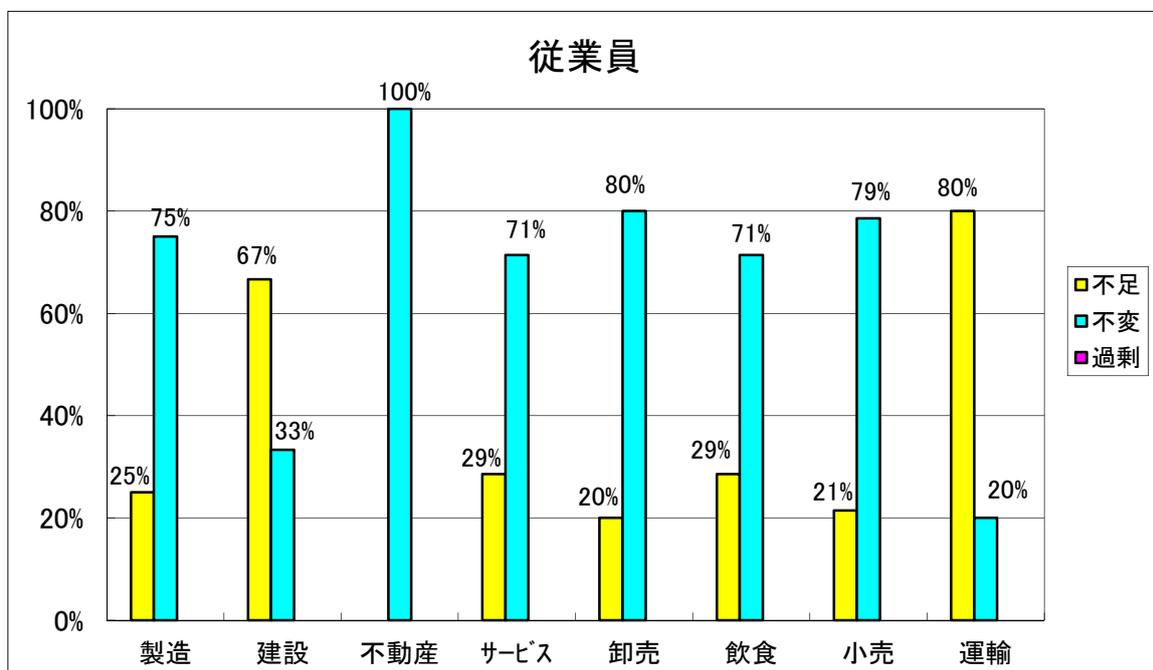
③仕入単価について

「上昇」が顕著なのが、飲食業86%（前回90%）、運輸業80%（前回80%）と前回調査と同じ業種に上昇が激しい状況となっている。

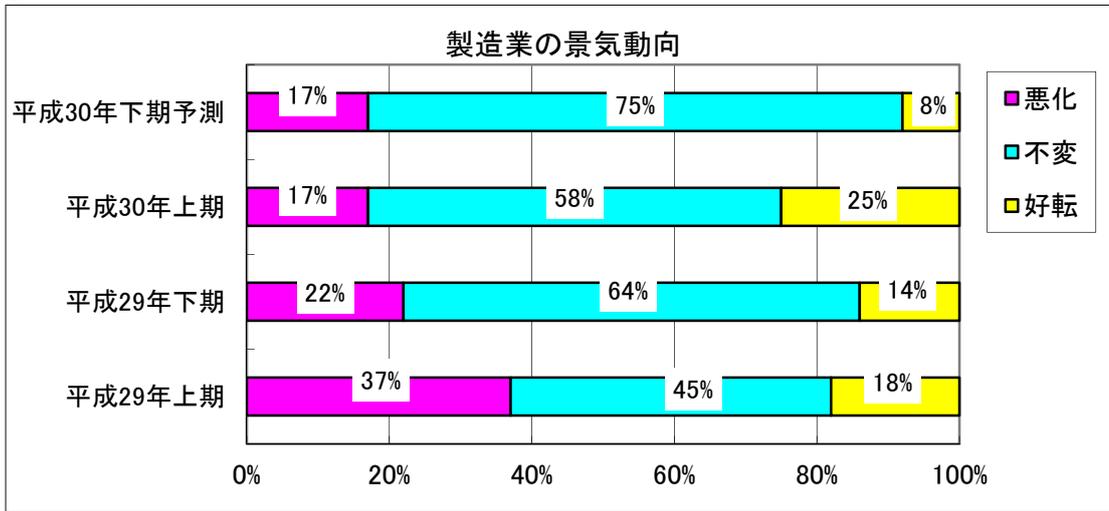


④従業員について

「不足」が顕著なのが、運輸業80%（前回100%）建設業67%（前回44%）で、前回調査と変わらず運輸業と建設業では人手不足が深刻な状況である。

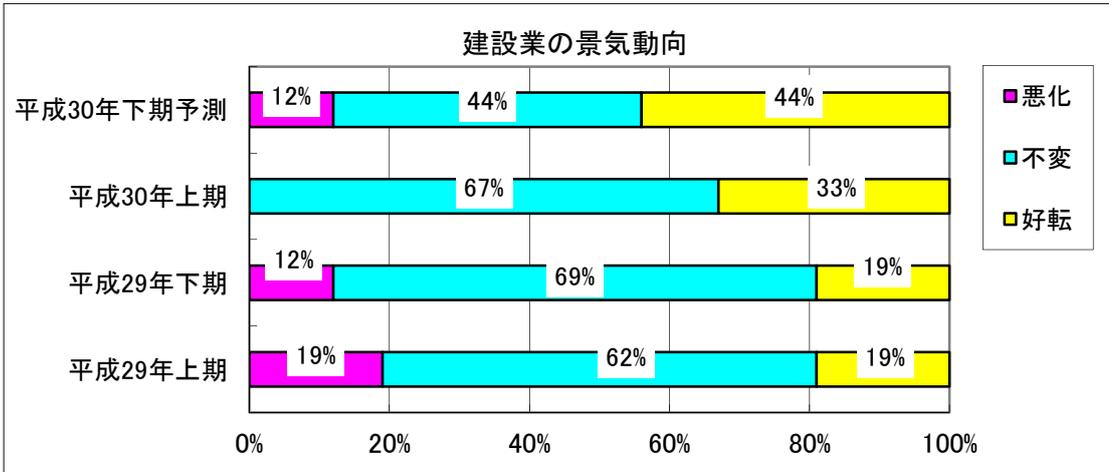


⑤業界の景気動向について



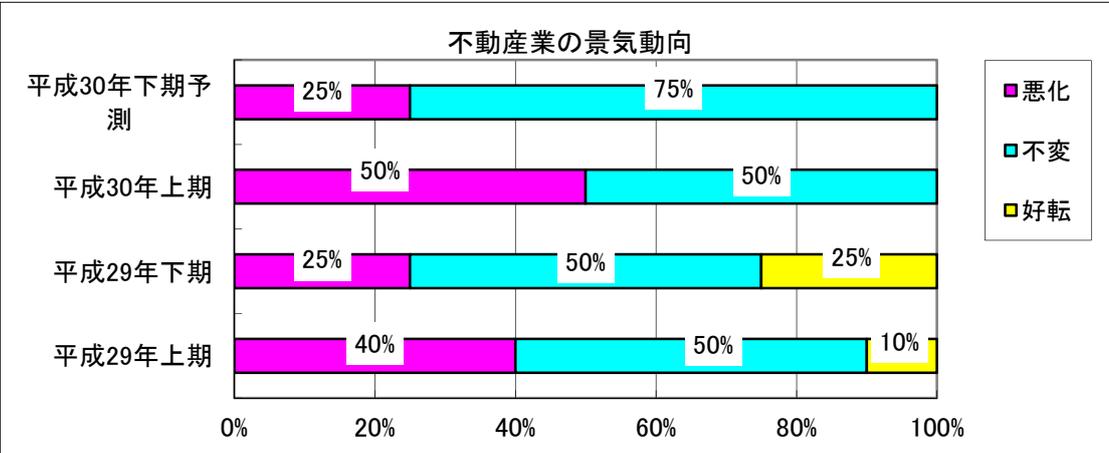
■製造業

平成30年上期では、「好転」が25%で「悪化」が17%と若干好転の傾向が強いが、平成30年下期の見通しは「好転」が8%、「不変」が75%で「悪化」17%との見通しである。



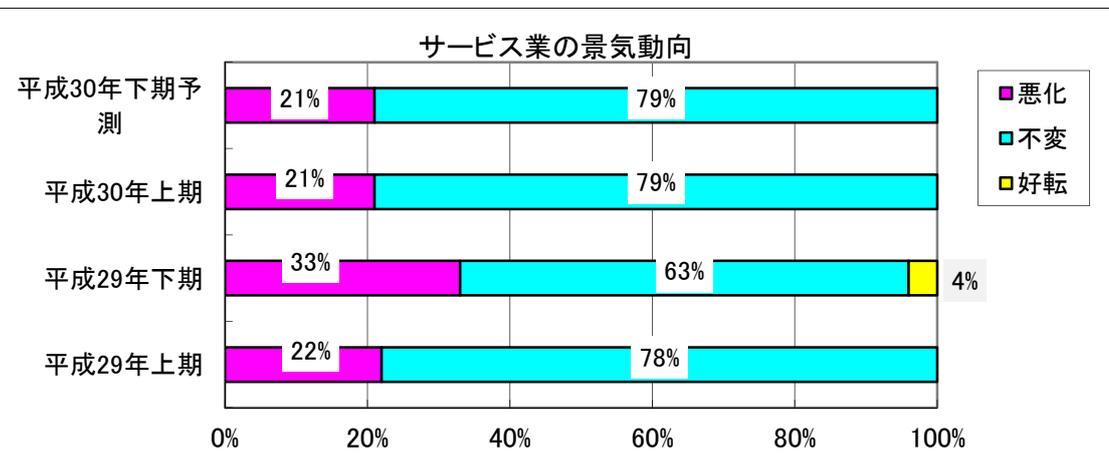
■建設業

平成30年上期は、「好転」が33%、「不変」が67%で「悪化」の回答は無かった。平成30年下期では「悪化」は12%との見通しがあるものの、「好転」が44%と見通しが明るくなっている。



■不動産業

平成30年上期は、「好転」が無く、「不変」と「悪化」が共に50%で厳しい状況である。平成30年下期の見通しでは、「悪化」が25%、「不変」が75%との見通しである。

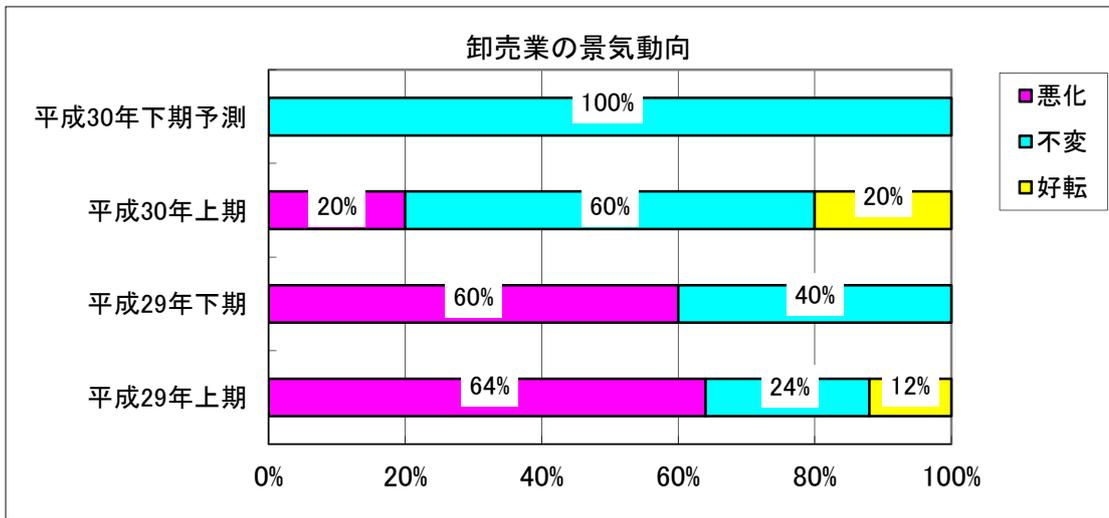


■サービス業

平成30年上期では、「悪化」が21%、「不変」が79%との回答で「好転」がなかった。平成30年下期でも「好転」とも見通しがなく依然として厳しい状況である。

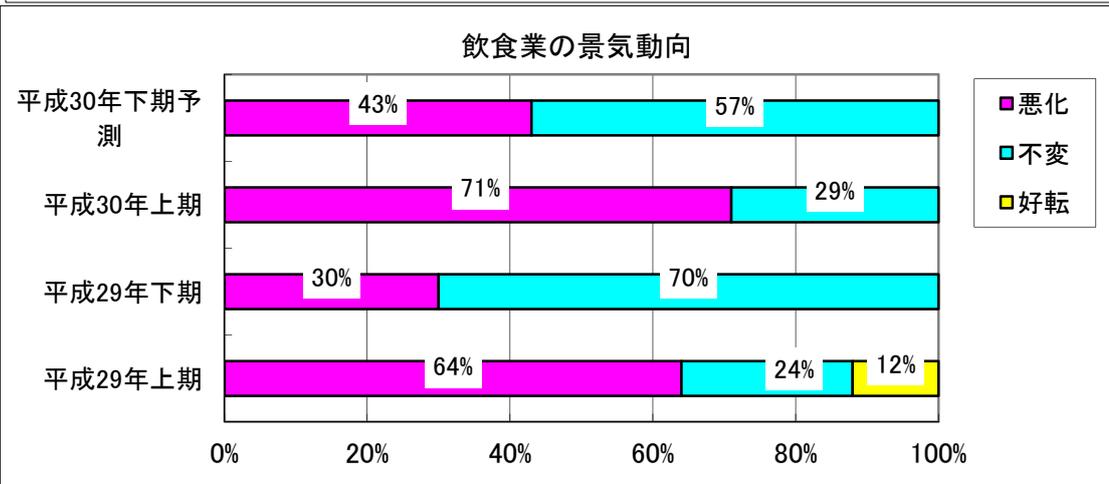
■卸売業

平成30年上期は「好転」が20%、「悪化」が20%と前回に比べると若干明るい景況感である。平成30年下期では、「不変」が100%で期待感は薄い。



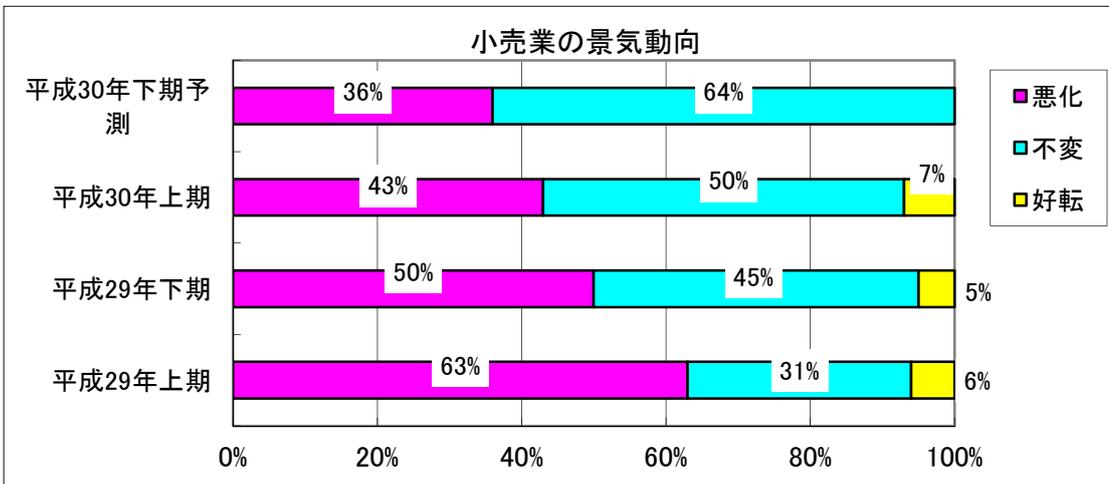
■飲食業

平成30年上期では「好転」はなく「悪化」が71%と前回に比べると悪化傾向は増加している。平成30年下期も「悪化」43%と減少しているものの依然として好転の兆しは見えない。



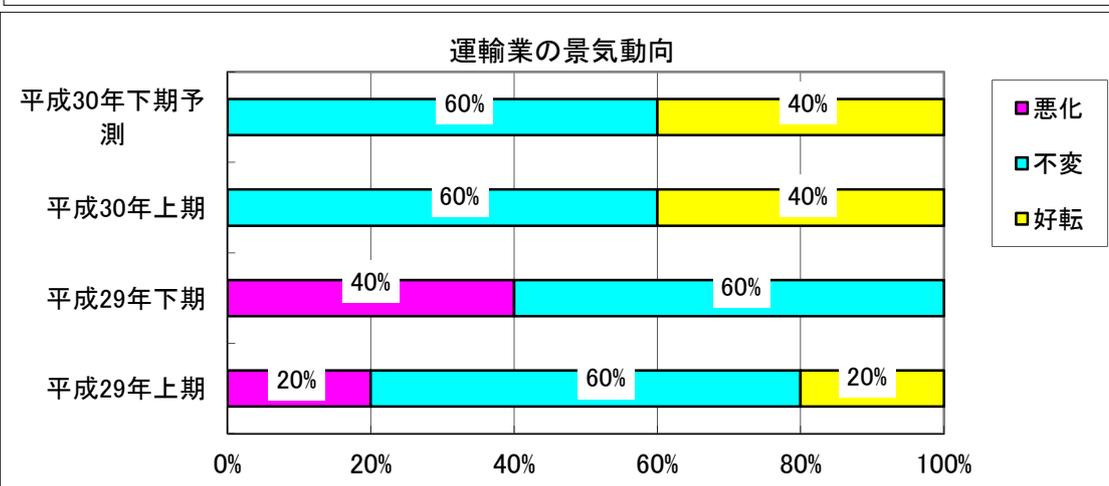
■小売業

平成30年上期は、「好転」が7%となっているものの「悪化」が43%であり依然として厳しい。平成30年下期の見通しは「悪化」が36%「不変」が64%となっている。「好転」はなかった。



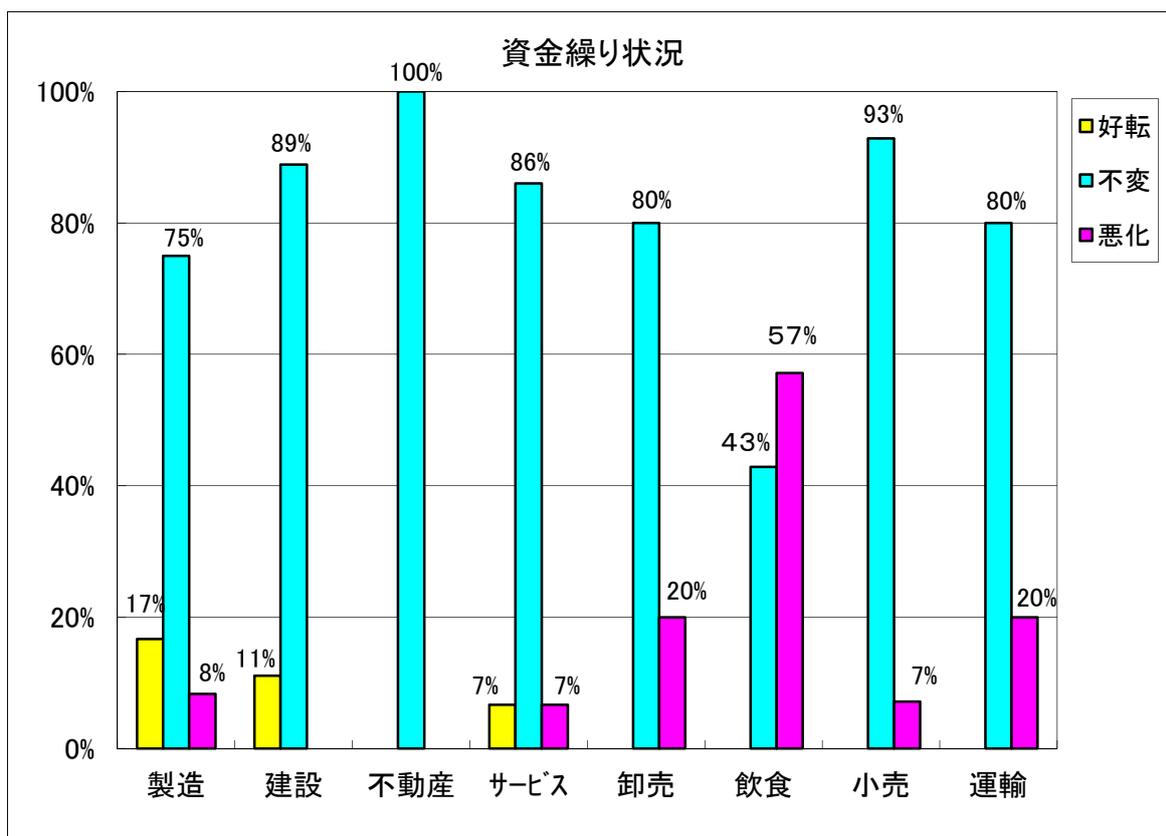
■運輸業

平成30年上期は、「好転」が40%と「不変」が60%で「悪化」が無く景気的好転がみられた。平成30年下期も「好転」が40%の見通しで引き続き堅調な見通しである。



⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が83%（前回74%）、「悪化」が12%（前回20%）、「好転」が5%（前回6%）と回答している。業種では、好転の兆しがあるのが製造業、建設業で、一方、悪化しているのが飲食業である。



⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が57%（前回47%）、「融資無し」が23%（前回27%）、「厳しい」が4%（前回9%）、「緩やか」が16%（前回17%）であった。融資状況については概ね変わりはない。

